

## 1 事業概要

事業の現況として施設、組織の現況、経営健全化への取組、過去5年間の経営分析を記載

## 2 将来の事業環境

(1) 水需要の予測、(2) 料金収入見通し

- 県東部地域の優れた企業立地環境
- 新たな工業団地の整備計画

考え方

- ① 現在の給水事業所については、これまでの実績や今後の需要見込みを勘案し給水量を見込む。
- ② 東部地域(管路沿線等)における企業立地の促進を踏まえ、新規事業所への期待給水量を見込む。

- 水需要予測を踏まえた料金収入を見込み、低廉で品質のよい工水供給を積極的にアピール。

(3) 施設の見通し

- 事業開始後59年を経過し施設の老朽化が進んでいるため、計画的改修により長寿命化を図るとともに、予防保全的な修繕を施し、安定的かつ継続的な給水機能を維持・確保する。
- 令和6年度に策定した施設更新等計画に基づき、給水能力を増強(日量6万 $\text{m}^3$ ⇒10万 $\text{m}^3$ )するとともに、更新時期を迎える送配水管及び施設・設備等についても計画的に工事に取り組む。
- 参考として、施設更新等計画の概要を記載。

(4) 組織の見通し

- 施設更新等工事を進めていくため、必要に応じた職員を配置していく。

### 3 経営の基本方針

- 現在の経営の基本方針を堅持すべく引続き努力。
  - ・工業用水の安定供給・・・施設・設備の適切な管理・運用を行うことで、低廉な工水を安定供給。
  - ・経営基盤の強化・・・・・・経営の現状や展望等を開示しつつ、引き続き、既給水事業所の信頼を得て、経営の健全化・効率化等の経営基盤強化に取り組む。

### 4 投資・財政計画(収支計画)

#### (1) 投資計画

- 施設・設備の計画的改修に努めつつ、予防保全的な修繕等を適切に実施。
- 「施設更新等計画」に基づき、計画的な(約40年間)施設更新等工事の実施。

#### (2) 財源計画

- 水需要予測に基づいた料金収入を見込む。現在の料金(26円/m<sup>3</sup>)は、近年の経費の増加及び施設更新等計画に要する費用は考慮されていない。
- 施設更新等計画に係る財源として、企業債の借入や、国の補助金の積極的な活用を行う。

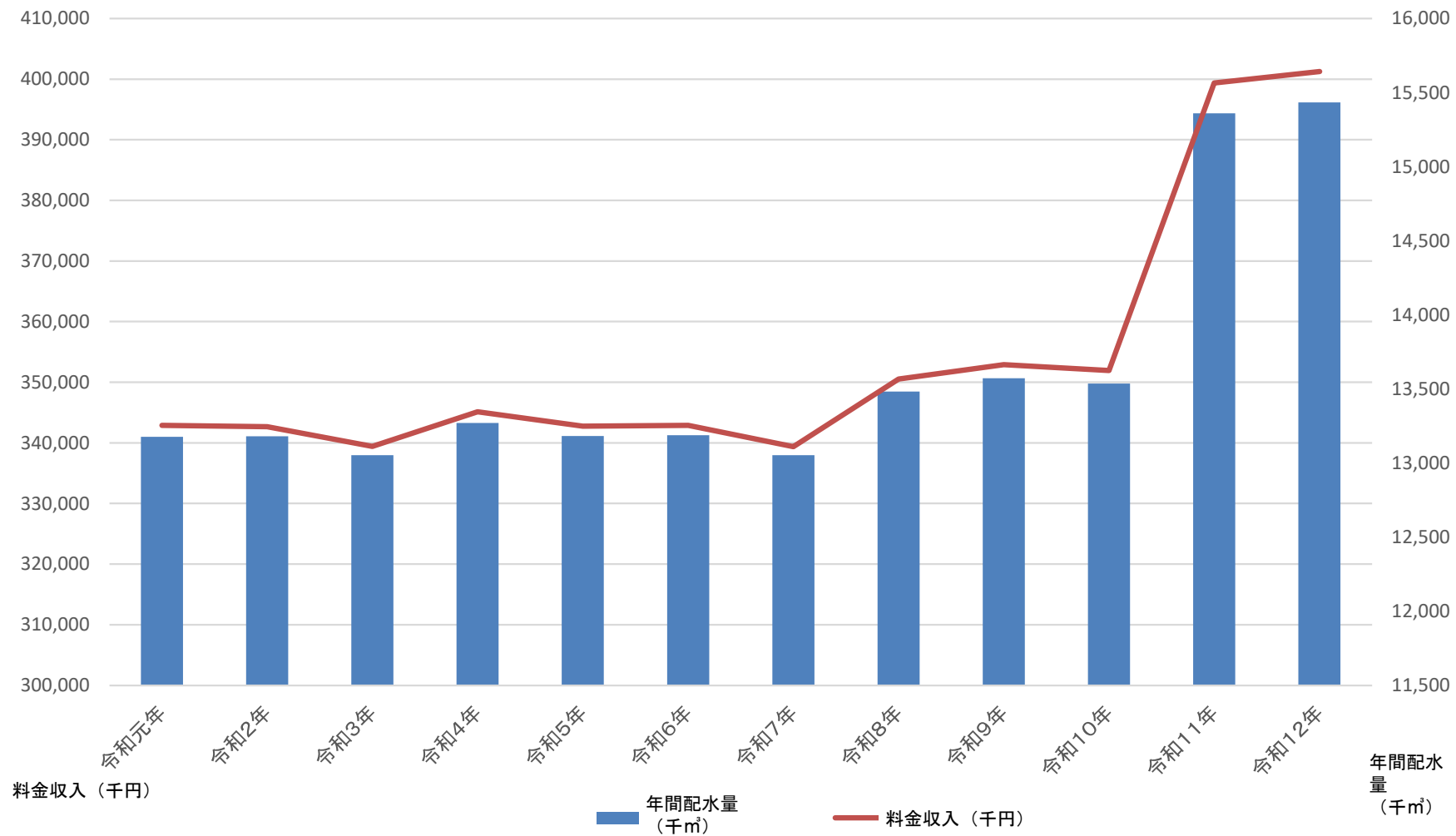
#### (3) 今後検討 予定の取組

- 現在の料金(26円/m<sup>3</sup>)は、経費の増加や施設更新等計画に要する費用を考慮され  
ておらず、適切な事業継続が困難となるため、料金を見直す必要がある。

### 5 経営戦略の事後検証と改定

- 今回の戦略見直しにより、料金見直しの必要性を示し、現戦略の期間内に料金を見直すこととした。
- 見直し後の数値目標等については、次期戦略に反映する。
- 進捗管理については毎年実施。

○ 水需要の予測及び料金収入の見通し(令和6年度まで実績、令和7年度以降見込)

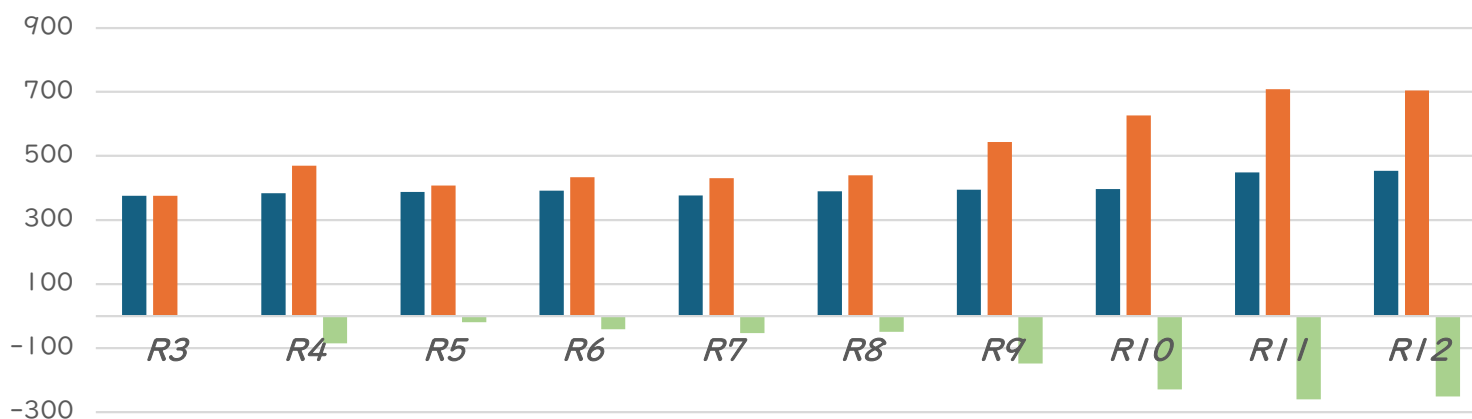


# ○ 投資・財政計画 各年度の収支見込表(損益計算書)

(単位:百万円)

区分		経営戦略期間(10か年)※R7以降数値見直し									
		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 見込	R8 見込	R9 見込	R10 見込	R11 見込	R12 見込
収入	営業収益	347	353	349	350	347	358	360	360	407	409
	営業外収益	29	31	39	42	30	32	35	37	41	44
	収益的収入 計	376	384	388	392	377	390	395	397	448	453
支出	営業費用	375	416	406	432	429	438	542	625	707	703
	特別損失	1	53	1	1	1	1	1	1	1	1
	収益的支出 計	376	469	407	433	430	439	543	626	708	704
経常損益		1	-32	-18	-40	-52	-48	-147	-228	-259	-250
純損益		0	-85	-19	-41	-53	-49	-148	-229	-260	-251

■ 収入 ■ 支出 ■ 純損益



# ○ 投資・財政計画 建設改良費(資本的収支)

(単位:百万円)

区分	経営戦略期間(10か年)※R7以降数値見直し									
	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 見込	R8 見込	R9 見込	R10 見込	R11 見込	R12 見込
建設改良費	50	44	84	169	217	1,716	1,572	1,269	565	659

